

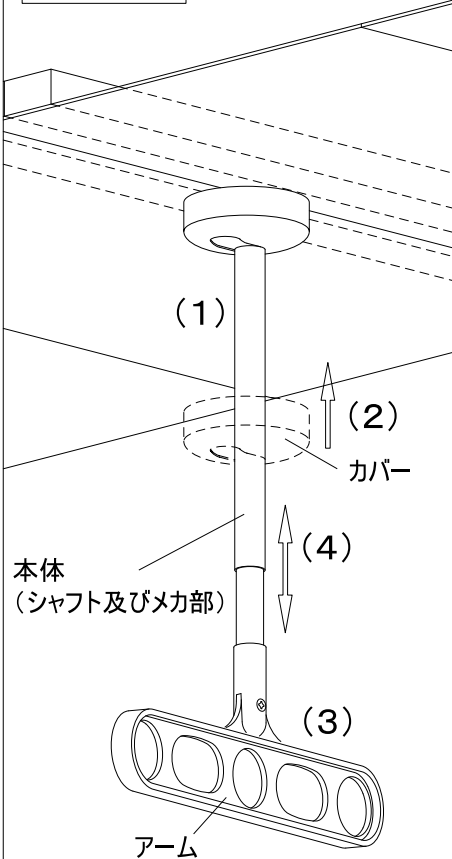
ホスクリーン® Z-104・Z-107型 取付説明書

TLM-0074-03
13.05

梱包内容

- ①本体(シャフト及びメカ部) × 2
- ②カバー × 2
- ③ネジ袋 × 2
- ④430アーム × 2

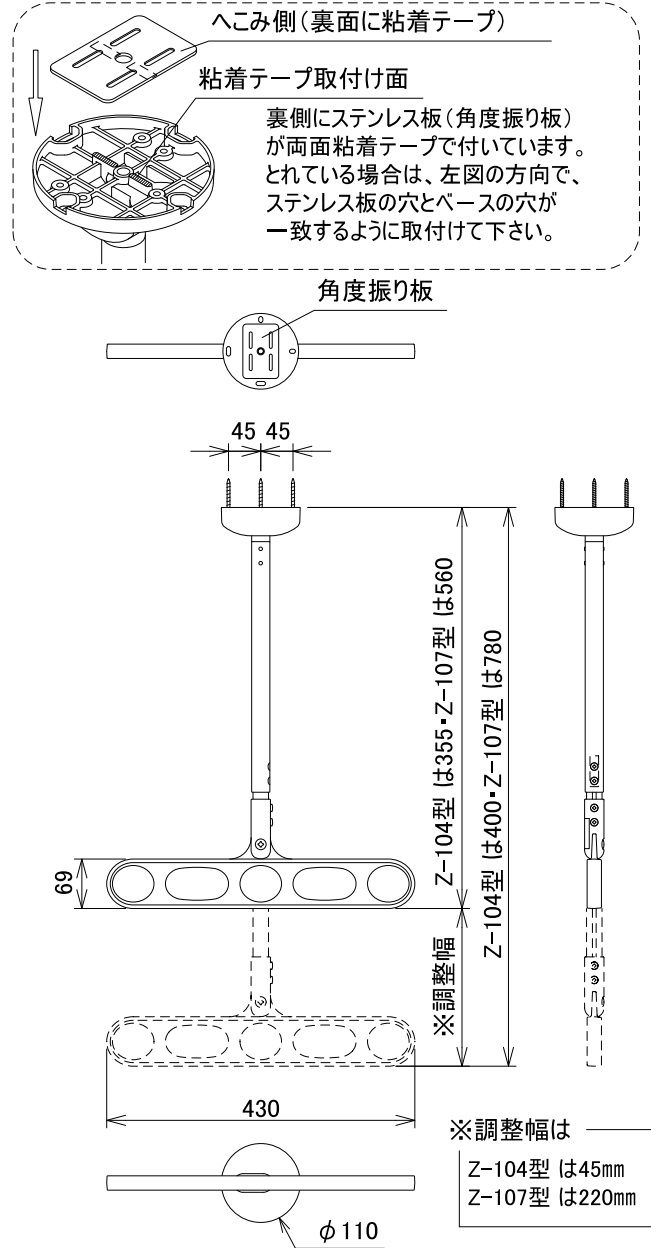
製品完成図



●取付けの順番(詳しくは後述)

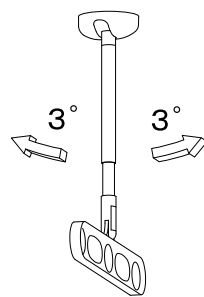
- (1)本体(シャフト及びメカ部)の取付け。
- (2)カバーの取付け。
- (3)アームの取付け。
- (4)高さ調整。

Z-104型・Z-107型 寸法図

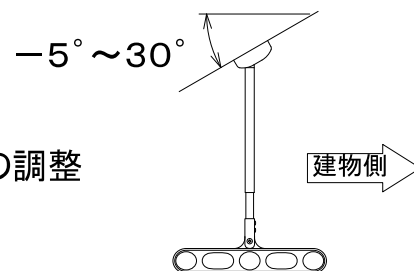


角度調整範囲

(1) 左右角の調整



(2) 前後角の調整

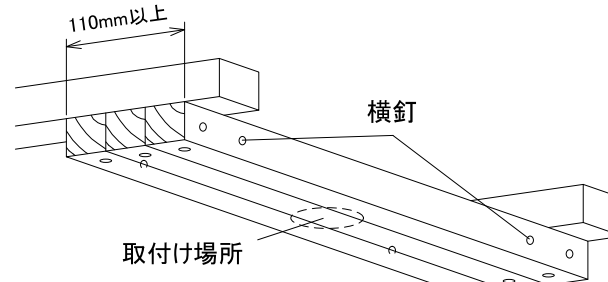


⚠注意 取付けは、説明書に従い確実に行って下さい。(取付けに不備があると、落下等によるケガの原因となります。)

準備

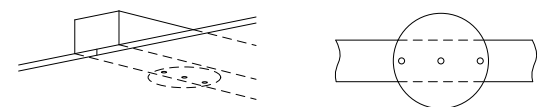
使用する部品は、本セット内にすべて含まれています。
この商品は取付け部に補強が必要です。取付ける部分の木製下地が、十分な強度を持っていることを確認して下さい。

●下地補強の例(下図)



取付け中央の野縁材の両脇に野縁材をさらに取付け、取付面巾が110mm以上になるようにします。
3本が一体化するよう互いを横釘でとめて下さい。

野縁1本にネジ3本止めの場合



上図のような取付け方の場合、垂直下向きの力による取付ネジの抜け等はありませんが、横振りの力に弱くなります。お施主様に充分注意を促して下さい。

木製下地の軒天に取付ける場合

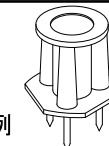
コンクリート天井面に取付ける場合

●インサートアンカーをお使い下さい。

カットアンカー、グリップアンカーなどの後施工、打ち込みアンカーはお勧めできません。
※インサートアンカーは当社では取り扱っておりません。

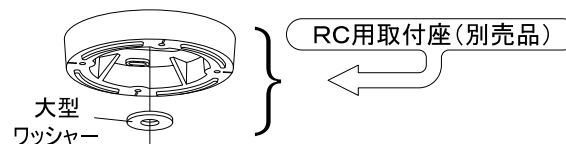
十分に強度を持ったアンカーを御用意下さい。
(3/8W、またはM10ボルトを使用するアンカーをお使い下さい。)

インサートアンカーの例



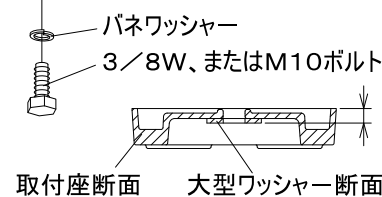
●RC用取付座(別売品)が必要

この商品は、コンクリート面に取付ける場合、RC用取付座(別売品)が必要です。



●ボルトとバネワッシャー(別売品)が必要

アンカーに合わせたサイズのボルトとバネワッシャーが必要です。締付け厚さは下図を参照してください。

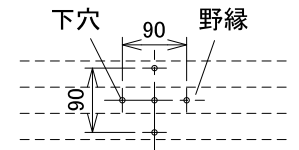


取付け方法

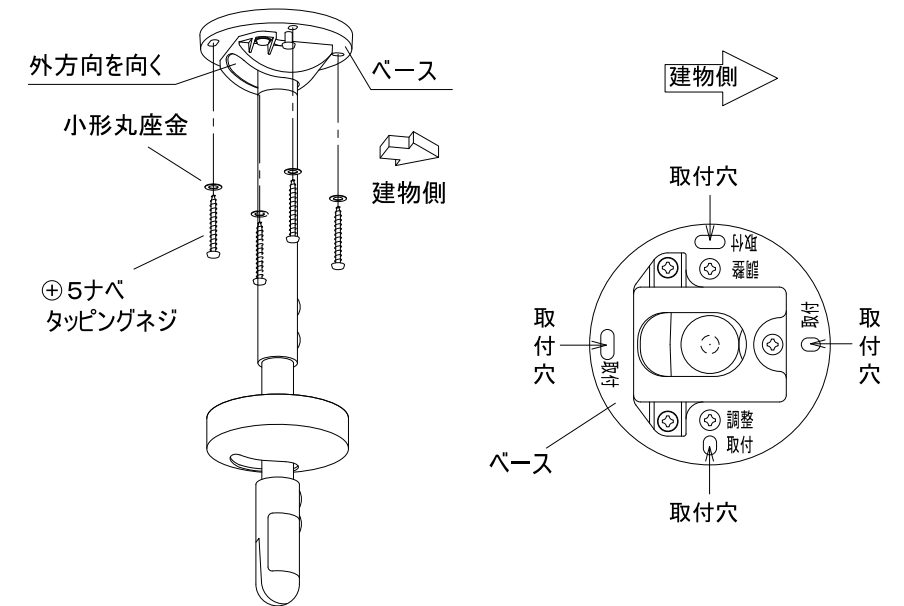
(裏面へ続く)

1 下穴と本体の仮止め

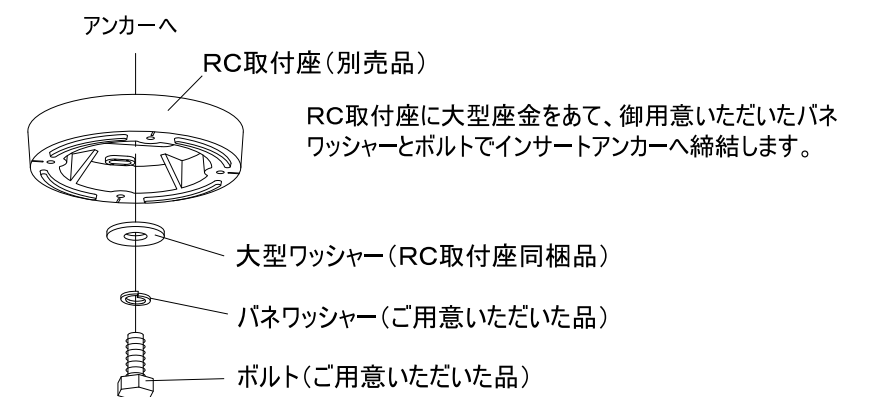
右図通りに正確に下穴(3mm前後)をあけて下さい。



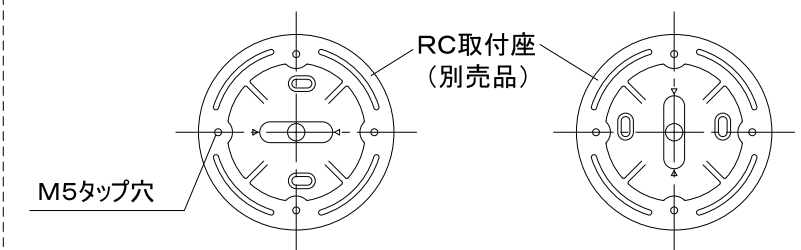
4本の取付けネジ(Z型ネジ袋)で、本体(シャフト及びメカ部)を3mm程度締め残して仮止めします。ベース周辺4つの“取付”と書かれた長穴を利用します。ベースの向きに注意して下さい。



1 取付座の設置



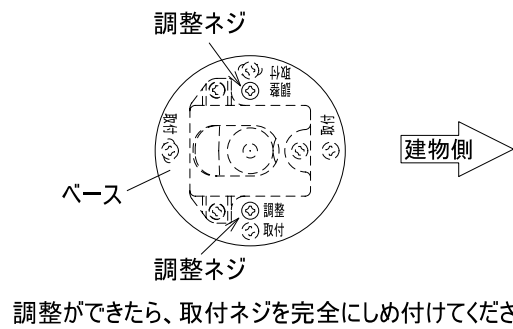
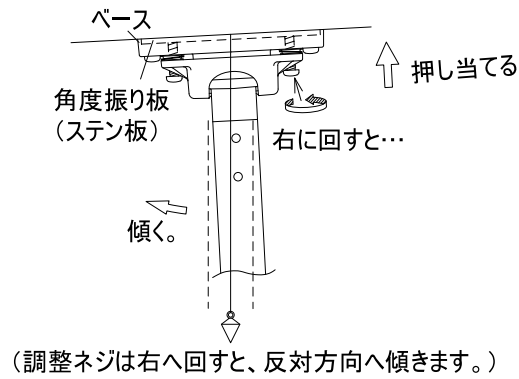
M5タップ穴が正確に取付位置に並ぶよう、取付座を取付けて下さい。
(下図のように、長穴が縦を向いても横を向いても構いませんが、M5タップ穴は常に取付け方向に対して垂直です。)



取付け方法

② 左右角の調整

下げ振り等を使い、ベースを天井に押し当てながら左右角の垂直を確認してください。垂直でない場合は、押し当てたまま、脇に“調整”と書かれてある調整ネジを回して垂直にします。



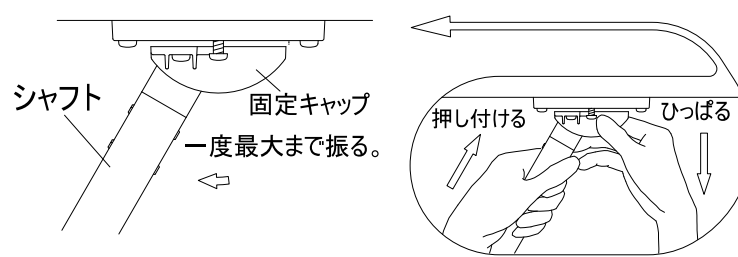
調整ができれば、取付ネジを完全にしめ付けてください。

③ 中央取付ネジの締め付け

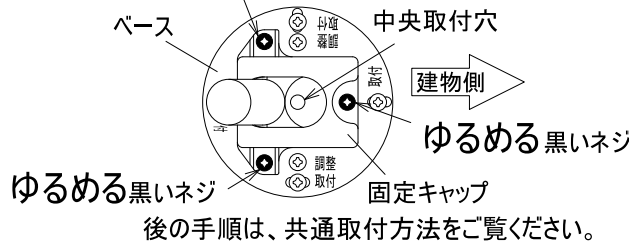
シャフトの角度を決めるためのベースの黒いネジ3本を、はずれない程度に充分ゆるめ、一度最大までシャフトを振ってください。本体の中央に取付穴が見えるので、そこを取付ネジで締め付けます。

！ 注意 黒いネジをゆるめずにシャフトを動かすと、本体が壊れることがあります。

(シャフトが動きにくい場合は、固定キャップを下にひっぱりながら、シャフトを上押し付けて動かしてください。)



ゆるめる黒いネジ (はずしてしまわぬようご注意ください。)

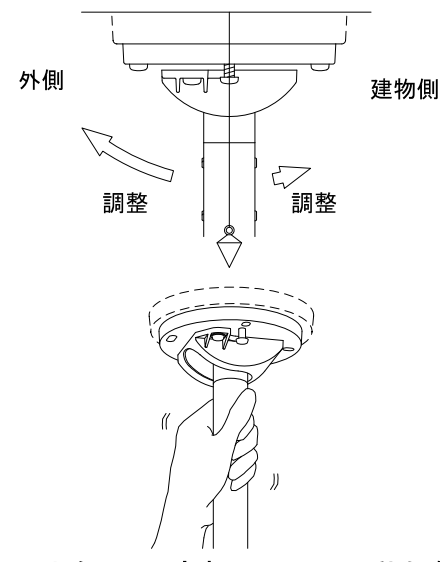


後の手順は、共通取付方法をご覧ください。

木製下地・コンクリ共通取付け方法

① 前後角の調整

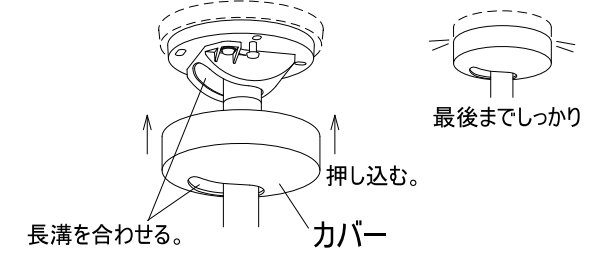
下げ振り等を使って垂直を出した後
ゆるめた黒いネジを、しっかり締め付けます。



シャフトを2、3度振ってみて、動かないことを確認してください。

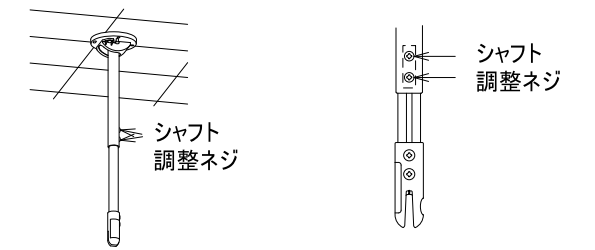
② カバーの取付け

カバーの長溝と固定キャップの長溝を合わせる方向で、爪の合わせに注意しながら、しっかりカバーを押し込んでください。

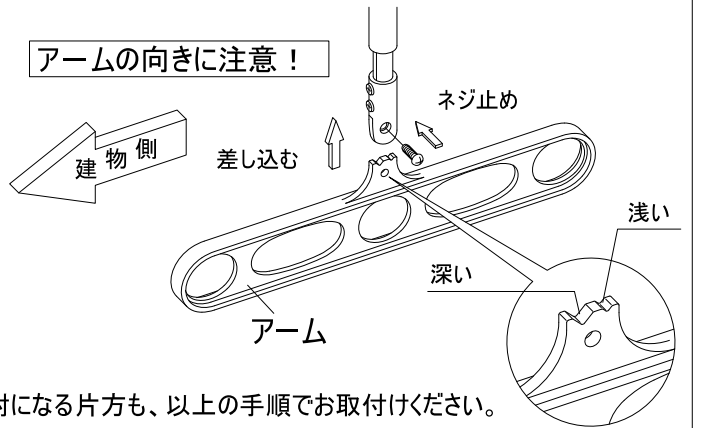


③ アームの取付け

シャフトに付いているシャフト調整ネジをゆるめて、シャフトを伸ばします。



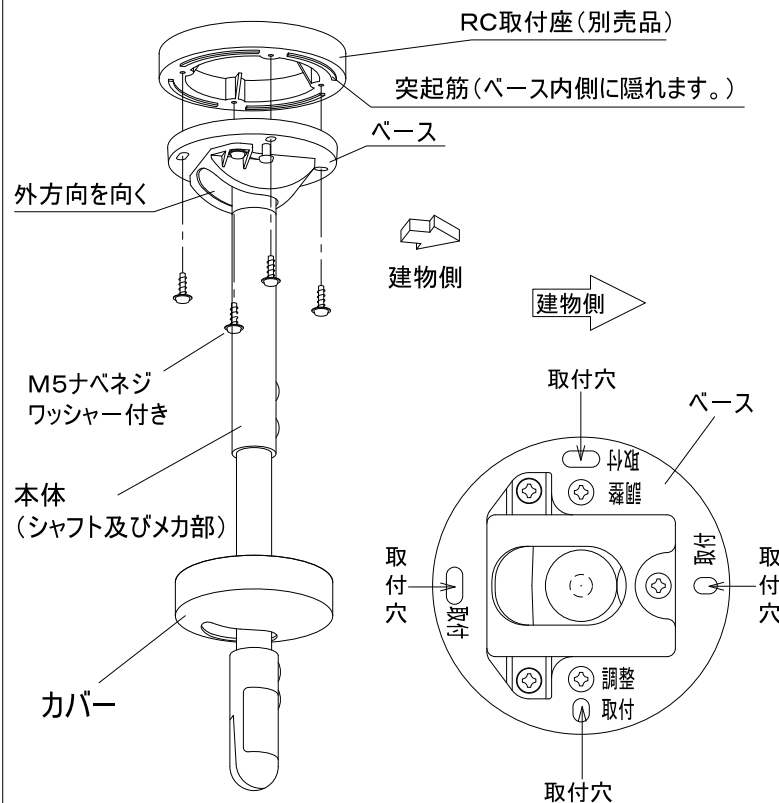
図の方向でアームを充分差し込み、受けとアームの穴が一致したら、M8ナベネジ(Z型ネジ袋同梱)で締め込んでください。



対になる片方も、以上の手順でお取付けください。

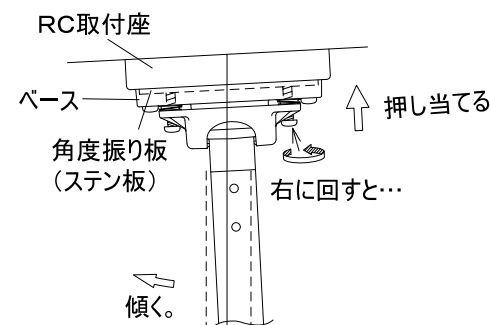
② 本体の仮止め

4本のM5ネジ(取付座ネジ袋)で、本体(シャフト及びメカ部)を取付座に仮止めします。3ミリ程度、締め残しておいてください。ネジはベース周辺に“取付”と書かれた長穴を利用します。ベースの向きに注意してください。

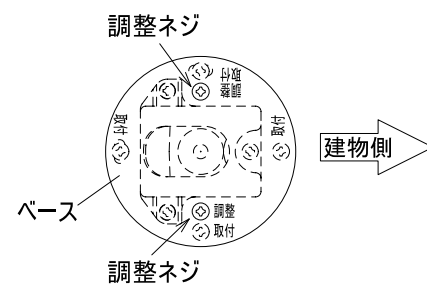


③ 左右角の調整

下げ振り等を使い、ベースを取付座に押し当てながら左右角の垂直を確認してください。垂直でない場合は、押し当てたまま、脇に“調整”と書かれてある調整ネジを回して垂直にします。



(調整ネジは右へ回すと、反対方向へ傾きます。)

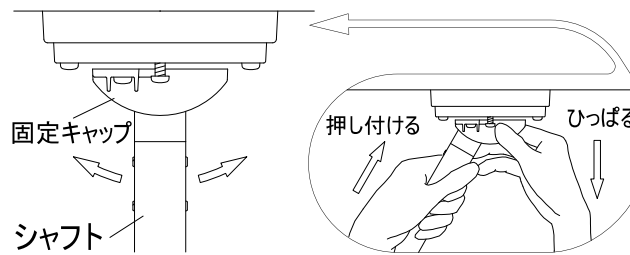


調整ができれば、取付ネジを完全にしめ付けてください。

④ 前後角の調整準備

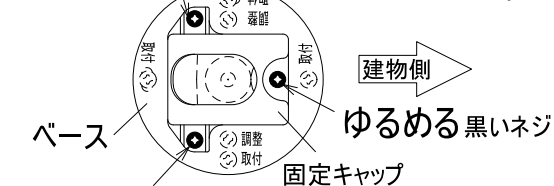
シャフトの角度を固定するためのベースの黒いネジ3本を、はずれない程度に充分ゆるめてください。シャフトが動くようになります。

！ 注意 黒いネジをゆるめずにシャフトを動かすと、本体が壊れることがあります。



(シャフトが動きにくい場合は、固定キャップを下にひっぱりながら、シャフトを上押し付けて動かしてください。)

ゆるめる黒いネジ (はずしてしまわぬようご注意ください。)



後の手順は、共通取付方法をご覧ください。

④ 全体長さの調整

シャフト調整ネジを抜けない程度に充分ゆるめ、高さを調整します。調整したら、シャフト調整ネジをしっかりと締め付けて完成です。

